

平成20年度経営計画 説明会資料

平成20年4月2日

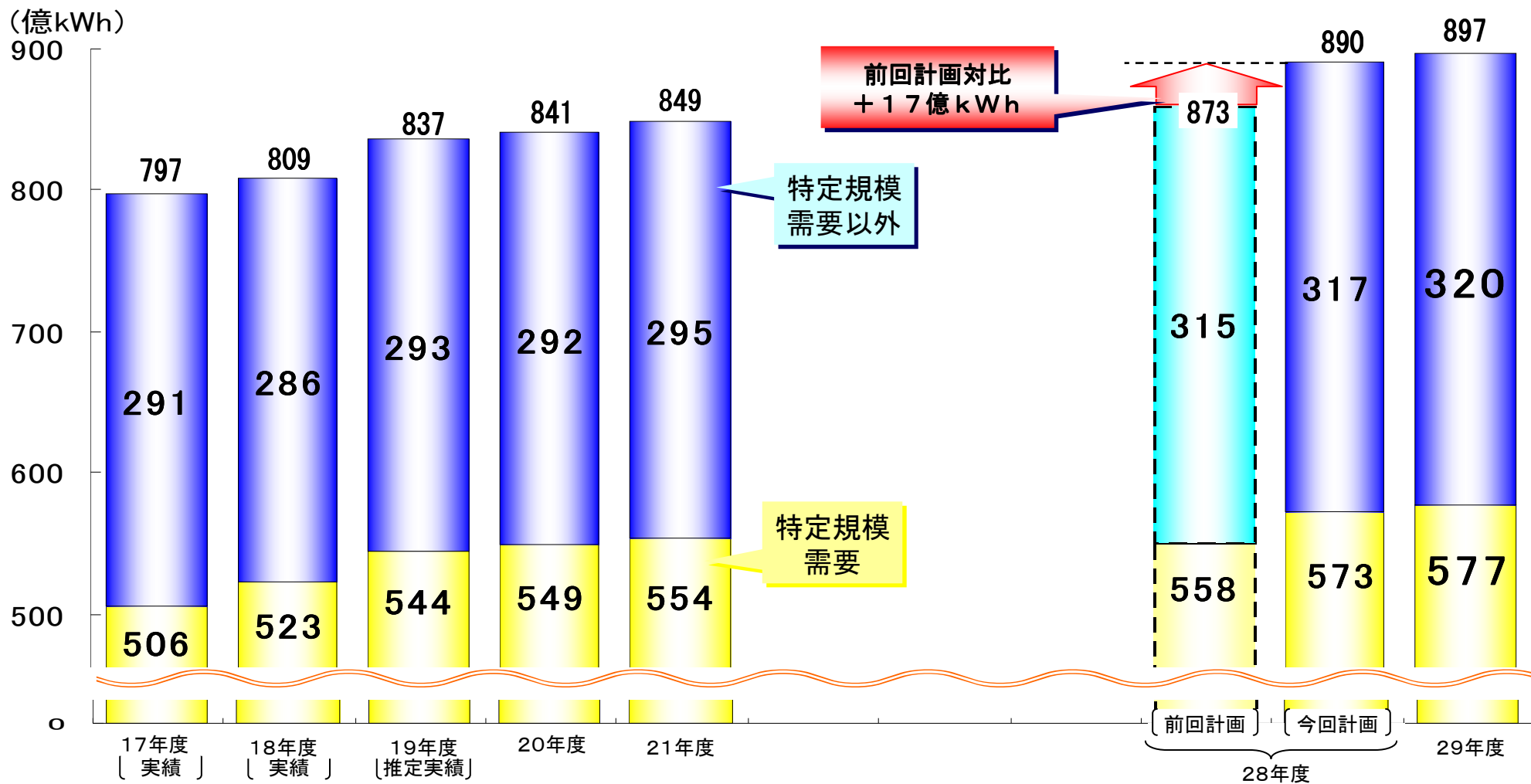


東北電力株式会社

経営計画の特徴点

I	旺盛な需要増を反映した電源開発計画	
	(1) 需要見通し 1
	(2) 電源開発計画 2
II	LNG基地建設 ～燃料の安定供給対策～	
	 3
III	設備投資計画 4
IV	原子力の耐震安全性対策 5

- ◇特定規模需要以外・・・オール電化住宅の普及拡大などから堅調な伸び
- ◇特定規模需要・・・郊外型を中心とした小売店舗の増加に加え、企業立地の進展や経済成長の持続により安定した需要の伸び



安全確保を最優先に、旺盛な電力需要に加え地球環境保全も含めた事業環境変化に柔軟に対応できる計画

1. 新規電源開発

- ◆仙台火力 4号 [44.6万kW]
(LNG) 運転開始：平成22年7月
- ◆新潟火力 5号系列 [10万kW級]
(LNG) 運転開始：平成23年3月
- ◆新仙台火力 3号系列 [95万kW級]
(LNG) 運転開始：平成28年7月／平成29年7月

3. 火力の廃止

- ◆新潟火力 3号 [25万kW]
(LNG) 廃止時期：平成21年7月
- ◆新仙台火力 2号 [60万kW]
(LNG) 廃止時期：平成23年度末
- ◆新仙台火力 1号 [35万kW]
(原油・LNG混焼) 廃止時期：平成27年度末

2. 運転再開（休止火力）

- ◆東新潟火力 港2号 [35万kW]
(LNG) 運転再開：平成20年6月
- ◆新潟火力 4号 [25万kW]
(LNG) 運転再開：平成20年7月
- ◆東新潟火力 港1号 [35万kW]
(LNG) 運転再開：平成20年12月

4. 運転開始繰延

- ◆浪江・小高原原子力 [82.5万kW]
(原子力) 運転開始：平成31年度
- ◆東通原子力 2号 [138.5万kW]
(原子力) 運転開始：平成31年度以降
- ◆能代火力 3号 [60万kW]
(石炭) 運転開始：平成35年度以降

燃料の安定供給対策に向け仙台地区に新たにLNG基地を建設

地震災害リスク，太平洋側と日本海側の気象条件の違いなどを踏まえ，新潟県のLNG基地に加えて仙台地区にもLNG基地を建設し，より安定した燃料供給体制を構築

LNG基地建設

- ◆ 着工時期：平成24年1月
 運転開始：平成28年7月（新仙台火力発電所3-1号と同時に運転開始予定）
- ◆ 建設場所：新仙台火力発電所構内
- ◆ これに伴い，新仙台火力発電所3号系列の運転開始を繰延
 3-1号：平成25年7月 ⇒ 平成28年7月（3年繰延）
 3-2号：平成27年7月 ⇒ 平成29年7月（2年繰延）



【写真は当社東新潟火力発電所と日本海LNG新潟基地】

Ⅲ 設備投資計画

(単位：億円)

	平成18年度 実績	平成19年度 推定実績	平成20年度 計画	平成21年度 計画
水 力	—	—	—	—
火 力	—	—	—	—
原 子 力	—	—	—	—
電 源 小 計	379	452	686	709
送 電	527	688	771	660
変 電	209	192	218	368
配 電	395	423	434	388
給 電	34	22	10	13
流 通 小 計	1,167	1,325	1,432	1,429
そ の 他	131	277	236	240
原 子 燃 料	119	135	175	255
電 気 事 業 合 計	1,796	2,189	2,529	2,633

1. 耐震安全性評価について

女川および東通の耐震安全性評価（中間報告）について、平成20年3月28日に原子力安全・保安院に提出。なお、下北半島の横浜断層や女川周辺の一部海域の地質調査については、最終報告に反映する予定。

中間報告のポイント

- ①新耐震指針に照らした各種地質調査結果（最新の知見を反映し、より安全側に評価）を考慮。
- ②新耐震指針の趣旨等を踏まえ、想定される地震をより安全側に評価し、基準地震動 S_s を策定。
- ③基準地震動 S_s により女川1号、東通1号の原子炉建屋および安全上重要な機能を有する耐震Sクラスの主要な設備の耐震解析を実施し、耐震安全性が確保されていることを確認。

2. 耐震裕度向上対策について

- ①安全上重要な機能を有する耐震Sクラスの主要な設備等の安全性を確保できることを確認したが、他の安全上重要な設備も含め、自主的に更なる裕度向上対策を実施。
- ②配管の支持構造物等の耐震裕度向上工事を、女川1号、東通1号の定期検査（現在実施中）より開始。

3. 各原子力の運転状況

女川1号

H20.2.14～（約10ヶ月）
第18回定期検査中

女川2号

～H20.2.27
第9回定期検査

13ヶ月以内に
次回定期検査

女川3号

～H20.1.25
第4回定期検査

13ヶ月以内に
次回定期検査

東通1号

H20.3.22～（約5ヶ月）
第2回定期検査中

当資料は、東北電力の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。当資料に掲載されております予測数字等は、東北電力の将来に関する見通し及び計画に基づく将来予測であります。

従って、これらの業績見通しのみにより全面的に依拠する事はお控え下さいますようお願いいたします。

これらの将来予測には、既知・未知のリスクや不確定な要素などの要因が含まれており、その要因によって東北電力の実際の成果や業績、実績などは、記載の見通しとは大きく異なることが有り得ます。

東北電力では、投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。